



在宅サービス部

渡邊 陽祐さん



ご紹介

2025年5月に、第一子となる陽翔（はると）くんが誕生し、育休を取得された在宅サービス部の渡邊さんに、貴重な体験談を話していただきました。



お子さんのお名前の由来は？
太陽のように明るく、何事にも挑戦できる子になってほしいという願いを込めてつけました。あと自分と同じ文字を入れてみたかったです（笑）



育休取得のきっかけは？
妊娠が判明してから、同僚や友人に出産直後の母体の辛さや体験談をいろいろと聞きました。その時にパートナーの助けが必須だと感じて、育休を取りたいと考えました。

育休の期間や時期はどのように決めましたか？

妻へのサポートが必要な時期を考えて決めました。もちろんサポートはどんなときも必要だと思いますが、全く動くことができない、出産直後に取ろうと決めました。

育休を取ることに奥さんやご家族の反応は？

もともと話していた通りに取ることができたので、安心したような反応でした。



育休はどうでしたか？

本当に楽しい時間でした。子どもと常に一緒にいて、その成長を間近で見ることができて、とても充実していました。また、今後の育て方や仕事復帰後の育児への関わり方を、事前に妻と相談することができてよかったです。



また、育休を二週に分けて取ったことで、後半は生まれてから一カ月経過した後のお休みでした。このため、少しずつ外出に慣らしていくことができたので、この休み方でよかったと感じました。

育休を取得して良かったこと・大変だったことは？



職場復帰はスムーズでしたか？

妻の負担を減らしてあげられたこと、子どもの変化を常に見ることができてよかったです。大変だったことは、吐き戻しなどのイレギュラーが起きた時と、沐浴が大変でした。これらを育休期間でしっかり経験できたのでよかったです。

最後に一言！

問題なく復帰できました。上司や同僚が私の分の仕事を行ってくれていましたし、復帰後に引き継ぎも行ってくれたので、問題ありませんでした。

男性も育休を抵抗なく取れるようになったことは、すごくよい傾向だと感じました。

パパが取得できる2つの育児休業

【育児休業】

出産予定日から子どもが1歳になるまでに最大1年間、2回まで分割して取得できます。

【出生時育児休業】

従来の育休とは別に、出生後8週間以内に、28日を上限として2回まで分割して取得することができます。

妻や子どもと過ごす時間が増えれば、育児も自分事として捉えられるようになり、より率先した関わりができると感じました。これからも三人で楽しい生活を送れるようにしていきます！

渡邊さんは、
【出生時育児休業】として、5月26日～6月8日の14日間、6月17日～6月30日の14日間の合計28日間取得されました。

